

こども発達さぼーとセンター

児童発達支援 支援プログラム

ア) 健康・生活

a ねらい

- (a) 健康状態の維持・改善
- (b) 生活リズムや生活習慣の形成
- (c) 基本的生活スキルの獲得

b 支援内容

(a) 健康状態の維持・改善

登所・活動時に目視による健康チェック、連絡帳による家庭での朝の様子、機嫌チェックの共通認識。熱性けいれんがある子に対しては定期的な検温を行う。難病児等、利用児の障害の特性に合わせて保護者へ聞き取りし心身の状況を把握していく。

利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（医療機関、保護者への状況連絡）を行う。

(b) 生活リズムや生活習慣の形成

給食を通しての食育、準備や片付け、おかわり要求に対する意思表示の方法を支援。

利用児の障害特性に配慮した形状や感覚的配慮。摂取時の姿勢や自助具等に関する支援を行う。また、食事場面で専門職（言語聴覚士、作業療法士）による必要な評価を実施し支援の提供を行っていく。

(c) 基本的生活スキルの獲得

来所時の準備、身支度、食事、衣類の着脱、排泄等生活を営む上で必要となる基本的技能の習得に対して必要に応じて1対1の対応を行う。視覚的支援の提示（実物、写真、イラスト）し、特性に合わせた療育を行う。導線を検討し、刺激を減らすなどの配慮を行う。

イ) 運動・感覚

a ねらい

- (a) 姿勢と運動・動作の向上
- (b) 姿勢と運動の向上
- (c) 感覚の特性への対応

b 支援内容

(a) 姿勢と運動・動作の向上

サーキットを活用し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹、ボディーイメージの向上、様々な動きの経験、向上を図る。

固有受容感覚、前庭感覚を意識した活動を通し、個々に応じて必要な感覚刺激からの情緒の安

定や、それぞれの感覚を統合することで新たな機能の獲得に対して支援する。

(b) 姿勢と運動の向上

自力での身体移動、歩行器による移動等、日常生活に必要な移動能力の向上を支援。

(c) 感覚の特性への対応

視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できる活動、味覚、臭覚も感じられるなど五感を感じる遊びを行う。

特性に合わせ、音楽療法を行い、感じた音楽を表出に繋げる。

素材遊びを充実させ、全身で素材の質感、温度、抵抗など様々な感覚から遊びを発展し思考、構成に繋ぐ支援を行う。

ウ) 認知・行動

a ねらい

(a) 感覚や認知の活用

(b) 知覚から行動への認知過程の発達

(c) 認知や行動の手がかりとなる概念の形成

b 支援内容

(a) 感覚や認知の活用

次月の日程、活動予定表を配布し、1週間、1ヶ月の予定を自ら確認できるようにする。当日の日付・曜日・スケジュールを視覚で分かるように掲示し概念の習得を図る。

(b) 知覚から行動への認知過程の発達

視覚、聴覚を活用して必要な情報を収集し、認知機能の発達を促す。同じグループの利用児の把握、準備物などパネルで確認、自らの行動に繋げるよう支援する。

(c) 認知や行動の手がかりとなる概念の形成

タイムタイマーを用いて活動の切り替えを視覚と聴覚に促す。

視覚（カード）で情報を提示し洗濯、行動につなげる認知過程の発達を支援する。

エ) 言語・コミュニケーション

a ねらい

(a) 言葉の形成と活用

(b) 受容言葉と表出言葉の支援

(c) 指差し、ジェスチャー、サイン等の活用

b 支援内容

(a) 言葉の形成と活用

簡単なあいさつや会話など円滑なコミュニケーションを行うことができるよう支援する。

具体的な事物や経験と、言葉の意味を結び付け、言葉の習得や発語を促す。

(b) 受容言葉と表出言葉の支援

楽しい気持ちや、発声や思いを伝えたい言葉への促しを行う。

絵カード、文字等コミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意志の伝達を支援する。

(c) 指差し、ジェスチャー、サイン等の活用

指差し、ジェスチャー、マカトン、手話等、言語聴覚士と共に個々の発達段階に対応するコミュニケーション手段を考え支援する。

オ) 人間関係・社会性

a ねらい

(a) 他者との関わり（愛着関係）の形成

(b) 仲間づくりと集団への参加

(c) 自己理解と行動の調整

b 支援内容

(a) 他者との関わり（愛着関係）の形成

安心できる支援者との関係を築き、信頼関係、安定した関係を形成する。

(b) 仲間づくりと集団への参加

遊びや活動を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促していく。

一人遊びから並行遊び、共同あそびへの支援、移行を促し社会性の発達を支援していく。

(c) 自己理解と行動の調整

自己理解とコントロールのための支援、自己行動や感情の理解、コントロールできるよう支援していく。